平成の H を表し、両側の「ハ」で下東郷中学校と高城東中学校が統合（平成３年）して、平成中学校になったことを意味する。

# 令和７年度　平成中学校グランドデザイン

下に末広がりにして、平成中の安定と、両端の鋭角で発展を、上方に細くして伸びる力を表している。
令和７年度　創立３５年目

【校訓】自主：自ら学び、理性をもって正しく行動する生徒　創造：心身ともに健康で、創造性豊かに根気強く実践する生徒　敬愛：明るく、素直で思いやりがあり、心豊かな生徒

人間尊重を基盤とし、教育関係法規並びに県・地区・市の教育方針を基調に、公教育の理念を踏まえた教育を推進する。

## 【学校教育目標】
自ら学び、心豊かで、たくましい生徒の育成
キャッチフレーズ　～ 輝く笑顔、歌声響く学校 ～

郷土の歴史や文化、本校の伝統を重んじ、学校や地域社会の教育課題を的確に把握して、保護者や地域の願いに応える教育を推進する。

## 【学校経営方針】
チーム平成中（チーム力を生かす）和と協働
教職員個々が「よさを発揮できる環境」「よさを共有でき、認め合い、生かし合う」「互いに同僚生を高め合う」
※　生徒に寄り添う「Ｍｏｍ姿勢」
【Ｍ：見つめる　ｏ：思いをめぐらす　ｍ：向き合う】
(1)　すべては生徒たちのために（生徒たちにとってどうか？）
(2)　生徒と教職員の健康と安全が第一
(3)　生徒たちの成長のために、教師は力量を高め発揮
(4)　生徒の夢を育み、人権同和教育の視点に立った、一人一人を大切にした教育（人権教育はすべての教育の基本）
(5)　厳しさと温かさ、師弟同行を基本理念とした心の触れ合う教育
(6)　健康や安全についての意識を高め、生涯を通じて健康の保持や安全の確保ができるための教育
(7)　郷土の自然や文化への理解を深めさせ、郷土愛に満ちた生徒の育成（地域行事への参加）
(8)　PDCA マネジメントサイクルを重視した校務推進と改善
(9)　社会に開かれた学校（地域の中の学校）、情報発信と連携
(10)　家庭・地域・関係機関との信頼と協力による教育の推進

### 【めざす学校像】
○ 礼儀正しく、活力に満ちた学校
○ 歌声が響き、明るく笑顔あふれる学校
○ 学力が身に付く学校
○ 美しく、環境が整っている学校
○ 家庭や地域から信頼され、期待される学校

### 【めざす生徒像】
○ 気持ちのよいあいさつや返事ができる生徒
○ 目標を持って、学び合いができる生徒
○ 勤労を尊び、進んで奉仕する生徒
○ 相手の気持ちを考え、思いやりのある生徒
○ 地域と積極的に関わり、地域に誇りを持つ生徒

### 【めざす教師像】
○ 人権感覚を磨き、人間性豊かな教師
○ 研修に励み、指導力の向上に努める教師
○ 子どもの姿から学ぶことができる教師
○ チームとして生徒を大切に、個性を伸ばす教師
○ 生徒・保護者・同僚から信頼される教師

## 【教育課題と努力点】
Ⅰ　確かな学力の定着（目標設定と授業改善）
Ⅱ　いじめ・不登校の未然防止と早期対応（魅力ある学校づくり）
Ⅲ　安心・安全と健康・体力（日常点検と継続的指導）

### 【具体的な事項】
1　学力に関する事項（授業改善）
・標準学力検査
・全国学力・学習状況調査
・鹿児島学力・学習状況調査（CBT 方式）
・家庭学習時間の定着（1年：100分2年：110分3年：120分）
・ICT 機器の活用（タブレットの持ち帰り）
2　生徒指導に関する事項（未然防止と早期発見）
・不登校
・いじめ
・問題行動
3　生徒の健康・安全（事前指導と継続的指導）
・けが事故
・う歯の未処置者
・朝食摂取率
・部活動入部率

**最重点項目・・・　「確かな学力の定着」　「いじめ・不登校の未然防止と早期対応」　「安心・安全と健康・体力」**

### プラン１【確かな学力】
「主体的･対話的で、深い学び」毎時間の授業で勝負する
1　職員研修の充実
校内研修テーマ【「学習者主体の視点に立った教育の実践」～読・書・算の基本を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成を目指して～
・授業を通した研修･･･学力向上プログラム、ステップアップ研修等
2　指導方法の工夫改善
・研究テーマに沿った授業改善（共通実践事項の実践）
・北薩の授業づくり３ポイント（学習意欲を高める）
・グループやペア活動の重視（伝え合い、学び合う）
・授業を通した他教科との枠を超えた指導方法の研修
・研究授業・授業研究の実施（日頃から相互参観）
・ICT 機器の効果的な活用
3　全校･学年体制での指導（道徳・朝自習・補充指導等）
4　土曜授業（年 10 回→年７回）を通した取組
5　家庭学習時間の確保（1 年：100 分 2 年：110 分 3 年 120 分）
6　自己肯定感の醸成（教科･道徳･特活･学校行事、部活動）
7　平成中学校区小中一貫教育の推進と充実（４校の連携）

### プラン２【豊かな心】
「生徒一人一人に寄り添い語る」　誠実に寄り添い語る
1　基本的生活習慣の確立
・気持ちのよい「あいさつ」への取組
・登校時刻を守る（生徒会）共通実践
・服装、身なりの徹底、無言作業
2　生徒指導体制の確立(チーム力)
・いじめ、不登校への対応（生徒指導委員会、＜SC･SSW・心の教室相談員・適応指導教室（スマイルルーム）･外部関係機関等との連携＞）
3　道徳の時間の充実（授業時間の確保と授業以外の取組）
・「考え議論する」授業、道徳の評価の実施及び研究
・計画的な年間計画の実施・評価
4　進路指導・キャリア教育の充実、生徒会活動の活性化
5　人権同和教育の推進（特別支援教育の充実）
・命の大切さを学ぶ教育、清掃の徹底
6　自己肯定感の醸成「高揚感」「有用感」「成就感」の感得
7　特別支援教育の充実（合理的な配慮と保護者との連携）
8　部活動の充実（自己有用感・自己肯定感・自尊感情）

### プラン３【安心・安全と健康】
「健康と安全は何よりも優先」　自分で自分の命や体を守る
1　安全指導・安全管理の徹底
・平成校区あいさつデー（月１回※交通安全指導の実施）
・自転車通学生への指導（ヘルメット着用、施錠の徹底）
・日常点検と緊急時対応（結露時転倒防止策）
2　体力・気力づくりの推進
・教科体育、体育的行事の充実
・補助運動や一校一運動の実践
・集団行動様式の習得
・部活動の充実（競技力向上・心の教育・生き方指導）
3　健康の保持増進
・基本的生活習慣の確立「早寝・早起き・朝ご飯」
・確実な健康観察の実施（睡眠時間の確保）
・清潔、整理整頓（安全指導の第一歩）
・学校保健委員会の充実
4　講師を招聘しての教育
・性(命)の教育、食育、薬物乱用防止教室等

**信頼される学校・教職員**
**（責任を果たす教育）**
**「平成中で学んでよかった！」**

### チーム平成中・同僚性を発揮！
(1)　魅力ある学校づくり
(2)　一人一人の使命感と職責感！
(3)　専門性に基づくチーム体制の構築
(4)　一人一人が力を発揮できる環境整備

1　教師の姿、本気度　「やる気」と「誠実さ」（３年間で育てる）
2　生徒との信頼関係の構築（生徒指導提要に基づく「発達支持的生徒指導」の理解と実践）
3　保護者や地域との積極的な連携（PTA 執行部及び地区コミュニティ協議会との連携）
・PTA 行事や地域行事への積極的参加、保護者への対応（誠意ある態度・マナー）
・学校運営協議会の開催（学校関係者評価の実施、地域あっての学校、学校あっての地域）
4　服務規律の厳正確保（年間計画と継続的な服務指導）　※ 自分を守る、家族を守る